

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 労働組合が社会の共通認識に あらゆる職場で労働組合の結成を

### コロナ関連解雇や雇い止めが急増

新型コロナウイルス問題が浮上して約3か月が経過しました。緊急事態宣言が解除され、新しい生活様式などが言われる状況ですが、雇用問題については、失業や解雇が表面化するのはいくらからです。

とりわけ非正規労働者への解雇・雇い止めは深刻です。厚生労働省は5月20日時点でコロナ関連の解雇や雇止めが1万人に迫っていることを明らかにしました。

新聞報道によると、非正規雇用は3月、4月

#### 緊急事態宣言後も営業のチェーン店

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、店を閉じ続けるかの判断がチェーン店に分かれたのがチェーン業界です。営業を続けるため、行き場をなくした客の受け皿になり、雇われる店も、感染を恐れ、店を閉めるように働きかけた従業員もいました。誰に何があり、利用する私たちに何が出来るのでしょうか。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

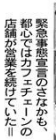
「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

#### 「3密」カフェ店員が団交

緊急事態宣言のさなか、使用済みのカフェやクマスと二階、鼻をかんだデ

#### 「テイクアウトのみに」かなわず



緊急事態宣言のさなか、使用済みのカフェやクマスと二階、鼻をかんだデ

「休業やテイクアウトは最後までやめてほしい」といって、閉店を求めている店も少なくありません。緊急事態宣言が解除された5月20日、あるチェーン店の首脳は、店員さんやパートさん、女性などは、感染を恐るに、女性連帯で、店の休業を求め、休業のあり方を話し合うように求めています。

#### 会社側 60分制・空気清浄機を導入

緊急事態宣言の解除後、休業補償も支払われなかった労働者が最終的に解雇になっていくケースが増えていくと思わ

### あらゆる職場に労働組合で必要だ

大量解雇やコロナ感染リスクの中で全国各地で労働組合が次々と結成されています。「労働組合をつくって会社に雇用調整助成金を申請させ、解雇を撤回させた」「6割だった休業補償を全額出させるために労働組合を作った」「3密職場に労働組合を結成し団体交渉によって感染対策をさせた」などが新聞でも労働組合が報道されています。

ヨガやジムなどのインストラクター、ホテル業界などが個人事業主として働かされている現場の労働組合も増えています。これで社会問題化しなかったことも当事者が声を上げることで世間に見えるようになっていきます。これまで労働運動に無縁だった若い人たちも労働組合に加わっています。

そうした当事者たちは「誰かが行動しないと何も動かない。ユニオンにたどり着けた自分たちは運が良かった」と語っています。(5月31日付『朝日新聞』)

コロナ禍の中で労働組合結成がひとつの「選択肢」「共通意識」になっていきます。